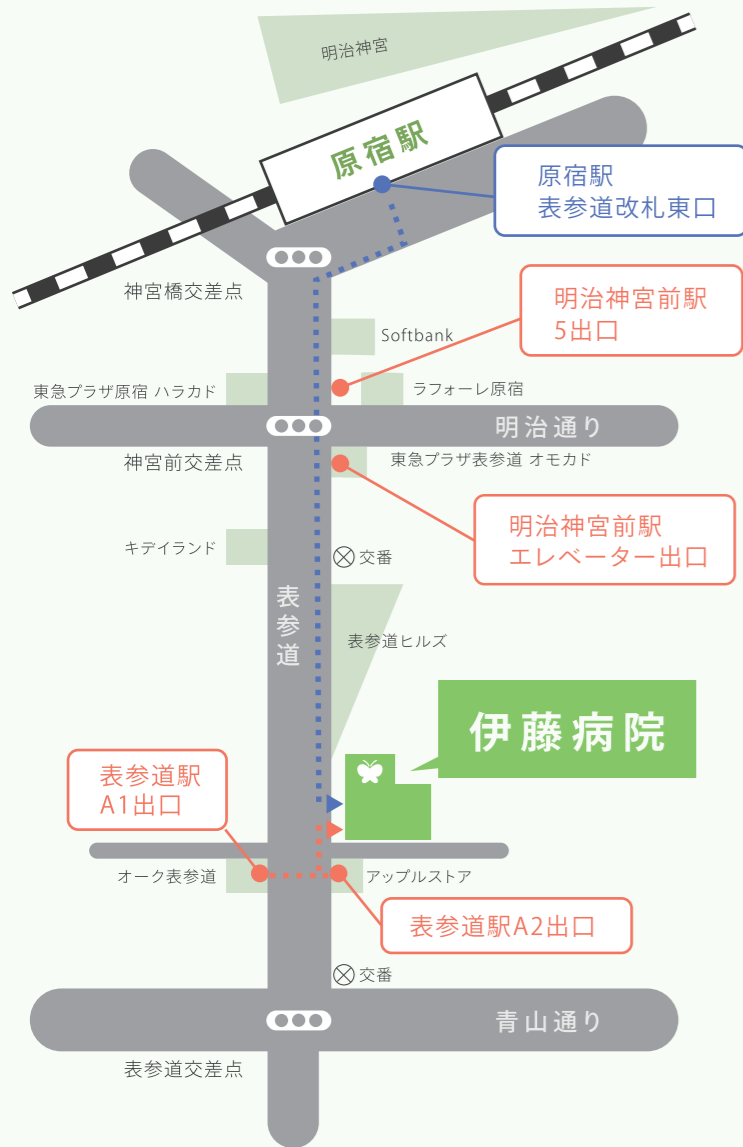


Access



- 銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道駅」
A2出口 徒歩2分 (A1出口にはエレベーターがございます)
- 副都心線「明治神宮前駅」
5出口徒歩10分
- JR山手線「原宿駅」
表参道改札 東口 徒歩15分

伊藤病院

TEL.03-3402-7411

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6



2026年4月 発行



甲状腺を病む方々のために

ITO
HOSPITAL



理念：甲状腺を病む方々のために

基本方針：甲状腺疾患専門病院としての業務に徹する

甲状腺はのどほとけのすぐ下にあり、蝶が羽を広げたような形をした内分泌臓器です。全身の代謝の調節、胎児・小児の発育促進にも関わる甲状腺ホルモンを産生しています。甲状腺疾患は大きく機能性疾患と腫瘍性疾患に分けられますが、内科・外科・放射線科が連携した診療が必要となる領域です。当院は1937年の創業時より、一貫して甲状腺疾患に特化した診療を続けております。「甲状腺を病む方々のために」という理念のもと、研究と実践を積み重ねながら、全国からご来院くださる患者さんへ専門診療をご提供しています。

院長あいさつ Message

甲状腺を病む方々のために



当院は1937年の創業以来、昭和、平成、令和の3時代を専門病院として駆け抜けてまいりました。始まりは甲状腺外科医であった祖父・伊藤尹が自ら手術をし、術後管理を施す有床診療所でした。その2年後に病院となり、1959年に父・伊藤國彦が、そして1998年に小生が院長職を引き継ぎました。このように血縁で3代続けながら目的を貫きつつ、現在の完璧な専門病院スタイルを確立させました。とは言え、同じ仕事の繰り返しには、退屈・慢心に陥る危険も潜んでおります。そこで常に「新しいものに挑戦し」、皆が仲良く「明るい伊藤病院」を目指しております。このパンフレットを通して、どうぞ、私共の真摯な取り組みを御理解頂ければと存じます。

伊藤病院 院長 伊藤 公一

病院概要 Summary

病床数	60床（うちアイソトープ管理病床7床）
診療科目	内科、外科、放射線科、病理診断科
法令等による医療機関の指定	保険医療機関／生活保護法指定医療機関／結核指定医療機関／被爆者一般疾病指定医療機関／難病医療費助成指定医療機関／指定小児慢性特定疾病医療機関
ISO 9001 品質マネジメントシステム 認証	
ISO 15189 臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項 認定	

診療の強み Our Strength

当院では、長年培ってきた診療経験と進歩した設備を駆使し、年間30万人の外来診療、1,700件の手術など、スタッフが一丸となって専門診療を提供しています。また、重症のバセドウ病やリスクの高い甲状腺がんの治療には不可欠な放射性ヨウ素内用療法（アイソトープ治療）においては、全国でも実施できる施設が限られていますが、当院では国内有数の病床数を有しています。近年新薬が登場している分子標的薬についても、世界有数の症例数を積み重ねています。



診療実績 Clinical Statistics (2025年)

外来患者数	: 333,057 (1日平均1,150.5)
初診患者数	: 17,939 (紹介患者数11,091、紹介率61.8%)
入院患者数	: 2,170
手術件数	: 1,749
アイソトープ治療件数	: 968

部署紹介 Department Introduction

看護部

▶ 外来・病棟・手術室・医療相談室

「まごころをこめて、専門病院ならではの質の高い看護を提供する」という理念のもと、4部署に分かれて業務にあたっています。まず、14の診察室・化学療法室で行われる外来診療を支えるのが外来看護師です。患者さんに安心して受診いただけるよう診察の補助や検査の介助・処置を行っています。病棟では年間2,000人以上の入院患者さんへ看護を提供し、手術室では患者さんの安全・安心を第一に、知識と技術を向上させながら年間約1,700件の手術のサポートをしています。また医療相談室では、患者さんからのご相談対応や入院案内、他施設との医療連携を担っており、それぞれのスタッフが専門性を発揮し、患者様やご家族の意思決定を支援しています。

診療技術部

▶ 薬剤室・放射線検査室・臨床検査室・臨床栄養室

診療技術部は、外来診療の要である検体検査・超音波検査などを担当する臨床検査室をはじめ、4部署から構成されています。薬剤室は外来調剤業務や病棟薬剤業務を中心に、他職種と連携しながら抗がん剤や分子標的薬治療の患者さんに対する支援なども行っています。放射線検査室では一般検査やCT検査を施行しているほか、国内でも有数のアイソトープ検査・治療設備を備えているのが特徴的です。臨床栄養室には管理栄養士2名が在籍し、入院患者さんの食事管理や栄養指導を担当しています。各部署で最新の設備を導入し、技術を高め合いながら、患者さんにできるだけ負担の少ない検査や治療ができるよう体制を整えています。

事務・管理部門

▶ 診療情報管理室・医事室・総務室・広報室・国際医療室・システム開発室 秘書室・ISO事務局

まず、医事室は受付・会計・レセプト請求を中心に幅広い業務を担当しています。診療情報管理室では、紹介状管理をはじめとする他施設との医療連携や、患者さんへの検査結果報告書の郵送、DPC（診療群分類包括評価制度）や全国がん登録などへのデータ作成や届出、診療記録開示の対応などを担当しています。また、職員の業務をサポートするバックオフィス部門として、総務室は経理・労務・設備管理などを担当、広報室は広報誌制作・取材対応などを担当、国際医療室は外国人患者さんへの中国語・韓国語の通訳提供、システム開発室は電子カルテなど院内システム全般の開発・管理、秘書室は医師業務の補助を行っています。



沿革 History

1937年(昭和12年)10月	初代院長 伊藤尹が、渋谷区穂田に伊藤医院を開設
1939年(昭和14年)12月	現在の地(渋谷区神宮前)に移転し伊藤病院を開設
1945年(昭和20年)5月	空襲により伊藤病院焼失
1945年(昭和20年)11月	品川区武蔵小山で伊藤病院を再開
1955年(昭和30年)7月	アイソトープ診療を開始
1959年(昭和34年)3月	伊藤國彦 院長(2代目)に就任
1960年(昭和35年)9月	戦災跡地に伊藤病院を開設
1968年(昭和43年)1月	コバルト照射装置を設置
1995年(平成7年)5月	新築工事のため目黒区大橋に病院、渋谷区渋谷に附属診療所を開設
1997年(平成9年)10月	病院建物竣工、伊藤病院(渋谷区神宮前)を再開
1998年(平成10年)1月	伊藤公一 院長(3代目)に就任
2004年(平成16年)6月	名古屋甲状腺診療所(愛知県名古屋市旧・大須診療所)開設
2011年(平成23年)7月	名古屋甲状腺診療所が新築移転
2017年(平成29年)11月	さっぽろ甲状腺診療所(北海道札幌市)開設

関連施設 Affiliated Facilities

関東圏に限らず、甲状腺疾患の患者様に伊藤病院同様の専門医療を提供することを目的に、両診療所を開設しました。甲状腺疾患の診療に必要な不可欠な血液検査・超音波検査(エコー)の迅速診断に加え、がんの診断に欠かせないエコー下穿刺吸引細胞診も実施しています。



名古屋甲状腺診療所



さっぽろ甲状腺診療所

—伊藤病院の魅力を教えてください

K.K:まず、専門的な知識、症例数、手術件数などトップクラスの先生方と、そこに携わる医療者がたくさんいることです。症状のコントロールが難しい患者様も緻密な薬の調整によって改善することが多く、先生の手腕を感じます。また、不妊治療中の方の甲状腺機能の管理、アイトーブ治療などを希望して当院を選ばれることもありますね。

S.M:採血をしているとき、患者さんから「伊藤病院のスタッフの採血は上手」とよく言われます。検体検査においては、早期からISO 15189(臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項)の認定を取り、国際基準で質の高い検査ができていることも強みだと思います。

K.T:伊藤病院には全国から患者さんがいらっしゃるの、外来はもちろん、お問い合わせも非常に多いです。まず自分たちが対応することがほとんどなので、伊藤病院の顔だという自負をもって、頼ってくださる患者さんにしっかりと情報提供ができるように心がけています。



K.T さん
診療事務部/医事室/主任
2011年4月入職

—部署をこえた、円滑なコミュニケーションの秘訣を教えてください

K.T:年間を通して、職員旅行や、納涼会、懇親会、焼肉の会、納会などさまざまな行事があります。行事や委員会を通じて他部署の方と関わる機会が多いですね。

K.K:そうですね。旅行では食事やお酒を楽しんだり、みんなで花火をしたり、部署の垣根をこえて共通の体験ができますよね。宮古島に行ったとき、自由行動の時間に先生の提案で他部署の人たちとカヤックをしたのが楽しかったです。旅行中や懇親会など、食事のときの座席をあえて仲良い人同士で固まらないようくじ引きで決めたり、他部署の人と一緒にできるようにしています。みんなが仲良くなって仕事が円滑になるように、と院長が考えているようです。

S.M:おかげでみんなが顔見知りになるので、ちょっと気になったことでもフラットに、気軽に質問しやすい関係性ができていると思います。



S.M さん
診療技術部/臨床検査室/主任
2012年4月入職



—今後に向けて取り組んでいること

K.T:最近新しいカルテに変わったので、受付から会計までスムーズに診療を提供できるよう、部署をまたいで意見を出し合い運用を構築しています。試行錯誤しているところですが、今後も患者さんが気持ちよく過ごせるよう、診療を支えていきたいです。

S.M:臨床検査室では、ISO 15189の認定範囲を拡大しようとしているところです。それによって、医師をはじめ職員が他院との共同研究をしたり世界に向けての研究発表をする時に役立つと思うので、力を入れていきたいです。

K.K:看護部では最近、平均年齢が40歳代だったところへ、若い世代が入ってきてくれています。新しい風が入り嬉しい一方で、世代間ギャップを感じることもあります。中間層として、世代や価値観をこえたコミュニケーションを良好にすることに貢献できたらと思っています。また、働き方を多様化させようという動きがあるなかで、職員が働き続けやすい環境づくりを支えていきたいです。



K.K さん
看護部/病棟/主任
2008年11月入職



看護部紹介



看護部 病棟

当院は60床（うちアイソトープ管理病床7床）の病床を持ち、手術療法・アイソトープ治療・化学療法などを目的に年間2,000人以上の患者さんが入院されます。平均在院日数は5.80日です。病棟看護師は思いやりのある看護の提供を目指すとともに、一人ひとりがそれぞれの経験やキャリアを活かしながら、甲状腺疾患看護の質向上のため実践・教育・研究に積極的に取り組んでいます。

平均年齢は39歳です。甲状腺分野未経験の職員も多く、チームワークを発揮して業務にあたっています。残業が少なく有休消化率も96%と、仕事と私生活を両立しやすいことも特徴です。



病棟看護師

G.Nさん（2024年4月入職）

Q.伊藤病院に入職したきっかけ

学生時代にバセドウ病を発症して以来、伊藤病院に8年間通院していました。ICUで働いていましたが、バセドウ病の再燃を機に転職を考えるようになりました。伊藤病院で自身の病気についてより深く学び、同じ病気を抱える患者さんの気持ちに寄り添った看護をしたいと思い、入職しました。

Q.仕事で大切にしていること

患者さんが自分の家族だったら、どのように対応してほしいか？を考えることを大切にしています。また、国内だけでなく海外からも、甲状腺治療を求めて来院される患者さんが多いため、患者さんとご家族の期待に応えられる医療・看護を提供することを常に意識しています。

Q.伊藤病院で働く魅力

甲状腺疾患を深く学べる点と、時間外労働がほとんどないため、ワークライフバランスを実現できる点です。私はマラソンやトレイルランの練習をしたり、友人や同僚と食事をしたりすることが多いです。また、夏の代々木公園のフェスや冬の表参道のイルミネーションが好きで、この表参道という好立地を誰よりも楽しめている自信があります！



病棟看護師

K.Yさん（2025年4月入職）

Q.伊藤病院に入職したきっかけ

友人の紹介で「とにかく人がいい病院」と聞いたことがきっかけです。見学した際、スタッフどうしの雰囲気良かったので、入職を決めました。

Q.現在の仕事の難しさ、やりがい

主に甲状腺の手術を受ける患者さんに対し、術前の準備や術後の観察、ケア、退院指導などを一貫して行います。甲状腺疾患は専門性が高く、入職当初は疾患や治療を理解したうえでアセスメントし、看護につなげる難しさを感じました。だんだんと知識と経験が結びつき、患者様の状態を自分なりに考えて対応できるようになったとき、大きなやりがいを感じます。

Q.今後の目標

知識と経験を積み、患者さんに安心感を与えられる看護師になりたいです。また、休日は海外旅行に行くなど、プライベートも大切にしながら長く働き続けることを目標にしています！

教育体制

看護のプロフェッショナルとして、組織のなかで働く一員として、自律した行動がとれる人材の育成を目指し教育体制を構築しています。入職後は、基本的には病棟・外来・手術室を数年単位でローテーションしながら甲状腺看護の経験と知識を深めていきます。クリニカルラダーに基づいて院内勉強会やe-ラーニングを活用した研修を行っているほか、学会発表などにも積極的に取り組んでいます。また、認定看護師などの資格取得への支援も行っています。

看護師の1日の仕事の流れ （病棟看護師の場合）



外来クラーク

当院の外来診療は14の診察室で行われており、外来クラークは各診察室で看護師と協力しながら医師の診察をサポートしています。具体的な業務は、検査結果や紹介状などの診察前の情報確認・診察室への患者さんお呼び出し・診察終了後の案内や次回外来の説明などです。また、外来窓口立ち患者さんからのお問い合わせやご要望の対応をすることもあります。職員は20代の女性が多くコミュニケーションが活発です。災害訓練や救急時のシミュレーションなど研修も幅広くあり、知識と技術を吸収しつつ互いに協力し合って業務に励んでいます。



外来クラーク

M.Yさん（2023年5月入職）

Q.伊藤病院に入職したきっかけ

幼いころの夢が看護師になることで、医療現場で働きたい気持ちがありました。資格がなくても医療機関で働ける仕事を探していたところ、伊藤病院の外来クラークの仕事に出会いました。

Q.現在の仕事の難しさ、やりがい

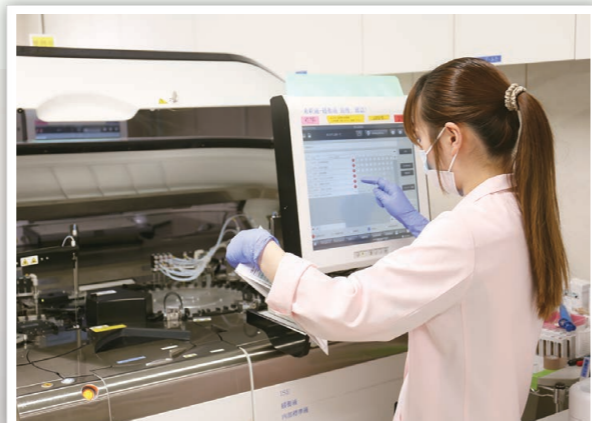
診察内容をふまえ、各部署へ連絡を行いながら、患者さんをご案内する仕事を担当しています。医療用語が多く最初は難しく感じましたが、事前にカルテを確認することで必要な情報を把握できるようになりました。他のスタッフと的確に連携できたときにやりがいを感じます。

Q.伊藤病院で働く魅力

職種や経験、資格の有無にかかわらず「チーム伊藤病院」の一員として受け入れてくれる、働きやすい職場だと思います！



診療技術部の紹介



診療技術部 臨床検査室

採血業務を中心に、生理機能検査・検体検査・病理検査・遺伝子検査など複数のポジションに分かれて業務にあたっています。1日あたり平均約1,000件の採血と約400件の超音波検査を実施しており、外来診療において重要な役割を担う部署です。国際規格であるISO 15189の認定を取得し、安心して検査を受けていただける手技と正確な検査結果を常に提供できるよう努めています。

職員の年齢層は新卒からベテランまで幅広く、男女比は1:4ほど。約50名の大所帯ながら穏やかで風通しの良い雰囲気です。産休・育休や時短制度を利用している職員も多くいます。



診療事務部の紹介



診療事務部 医事室

医事室は、受付・会計・レセプト請求をはじめ多岐にわたる業務を担当しています。まず受付では患者さんの保険情報などを確認し、初診患者さんの場合はカルテを作成、診療の流れをご案内します。会計業務では、患者さんの検査や診察内容を電子カルテで確認し会計を作成。そのほか診断書など各種書類の申し込み受付と書類手配、患者さんや医療機関からの電話応対や取り次ぎなども行っています。

職員はほとんどが女性で、20代、30代の若手も多く活躍しています。残業が少なく長く働きやすい環境で、子育て中の職員も多数在籍しています。



診療技術部 臨床検査技師

M.Hさん (2023年4月入職)

Q.伊藤病院に入職したきっかけ

検査技師の人数も多く、学びながら成長できる環境だと感じ、入職を決めました。

Q.現在の仕事の難しさ、やりがい

採血、甲状腺超音波検査を中心に担当しており、心電図検査や心臓超音波検査にも携わっています。専門病院ならではの求められる知識や技術があり、難しさを感じる場面もあります。その分、一つひとつの検査を無事に終えられたときや、信頼して任せていただいたときにやりがいを感じます。

Q.伊藤病院で働く魅力

部署のメンバーはもちろん、他部署の方とも距離が近く、分からないことがあっても気軽に相談できる場所だと思います。忙しくても声を掛け合える、心地よい職場です。

医事室 事務

N.Aさん (2025年4月入職)

Q.伊藤病院に入職したきっかけ

仕事とプライベートを両立できる勤務時間と、雰囲気の良さが決め手でした。

Q.現在の仕事の難しさ、心がけていること

患者さんからの問い合わせや窓口での対応、新しく受診された方へのご案内、カルテ作成、保険証の確認などが主な業務です。患者さんからの疑問や要望を的確に理解し迅速に伝えることに難しさを感じますが、知識を深め、柔軟に対応することを心がけています。

Q.伊藤病院で働く魅力

プライベートの時間を大切にできています。また、多種多様な行事がある点も魅力に感じています。年に一度の職員旅行なども楽しみにしています。

